

# ハッピー&スマイル 27号

発行者  
社会福祉法人楽寿会  
特別養護老人ホーム楽寿荘  
四倉町上仁井田字横川67  
Tel (0246)32-6381



## 鈴木サタコ様 百歳賀寿

一月二十四日(火)に中棟の鈴木サタコ氏の賀寿祝い、一階中棟フロアーにて大勢の利用者の皆さんが見守るなか行われました。福島県、いわき市、四倉地区社協などから記念品の贈呈、ご家族からのお祝いの言葉、花束贈呈を受け、普段とは違う雰囲気の中、目をしっかりと開け祝典に臨まれていました。



「金の衣装を着て緊張されているようです」



「他利用者のみなさんも、見守っていました。」

## 新春宝くじ



平成二十九年一月一日(日)新年を迎えて一日目のこの日、毎年恒例の「新春宝くじ」が開催されました。番号の書かれた宝くじの札を持ち、一階の利用者の皆さんは中棟の食堂へ、二階の利用者の皆さんは西棟食堂に集まりました。



「大当たり～！ドンドン」



式典の後に行われた食事会では、ご家族に囲まれながら終始和やかに食事を楽しまれ、記念撮影などをして過ごしました。



「沢山の賞状と、花束贈呈」



「ご家族の皆様と... 100歳おめでとうございます。」



「式の後はお食事会でした」

まず、施設長よりお話しがありました。無事に新しい年を迎えることができましたことに感謝し、利用者・職員の皆さんで新年の挨拶を行いました。挨拶が終わり、いよいよくじを引き始めます。大きな箱の中からくじを引き、番号が読み上げられます。



「賞品を受け取り、笑顔に♪」



サタコさん、百歳おめでとうございます。サタコさんの歩んでこられた百年の歴史を誇りに思います。これからも楽寿荘で、たくさんの思い出を職員と共に作って行きましょう。



サタコさんの両隣にいるのは、101歳の猪狩キヨ子さんと高原ミセさんです。3人合わせて、302歳です！！



「楽寿荘厨房より、お祝いのケーキです♪」



「施設長、1階の職員と共に記念撮影！」

## 豆まき

二月三日(水)節分の日、楽寿荘で豆まきが行われました。青鬼や赤鬼に扮した職員が各棟に出向き、今年の年男・年女の利用者の皆さんを中心に、豆まきをして鬼退治です。楽寿荘では十名の利用者様が、酉年生まれでした。

番号を呼ばれ、皆さん嬉しそうに「はい！」と手を上げていました。賞品を受け取ると、待ちきれず包みを開ける方も...。「きれいな上着だね」「これ欲しかったんだ」と笑顔でお話しされていました。今年一年も、この日のように笑顔の多い年でありましますように。



「2017年もよろしくお願いします！」



鬼が来ると「鬼は〜そと！」「福は〜うち！」と、大きく元気な声で豆をまく利用者の皆さん。鬼は「やられた」と逃げていきます。鬼に扮した職員の姿に気付いて、優しく豆を投げる利用者の方もいました。利用者の皆さんのおかげで、楽寿荘の厄を払い、福を呼び込むことができました。きっといい年になりますね。



「鬼の皆さんと...はい、チーズ！」



「鬼には負けられません！！」



## 訪問看護ステーション

病気や障害があっても住み慣れた自宅で自分らしく過ごしたいと思う人は年々増えており、病院の治療が終わって、在宅医療に移行する人が増加しています。

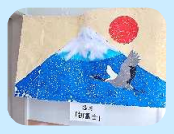


「自宅に看護師さんが来てくれるなんて知らなかった」と言う言葉を耳にすることがありますが、訪問看護師は自宅に訪問して、健康面や生活などで気になっていることをお聴きし、血圧や脈などを測定したり、体調を観察して病気の悪化防止や健康管理などを行います。また、かかりつけの医師の指示のもと、体調によっては点滴や注射、傷や床ずれの処置、胃ろう・経管栄養の管理や吸引などの呼吸管理、服薬管理、排便に関する下剤の調整なども行います。その他にも介護予防としてリハビリ体操、口腔体操を一緒にしたり、介護方法についても相談・助言を行っています。住み慣れた地域や自宅で安心して生活が出来る様、四名の看護師が交代で365日・24時間体制で支援してまいります。ぜひ訪問看護を活用してください。



「訪問看護ステーションの、看護師のみなさんです♪」

現在、楽寿荘内各棟の廊下に、ショートステイの利用者の皆さんが昨年度作った貼り絵が飾ってあります。面会に来られた際はぜひ見てみてください。



楽寿会ホームページはこちらから



<http://www.rakujukai.com>

